

区市町村アンケート結果報告

東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター

調査概要

調査目的

- 通いの場評価シートの一部（ACT-RECIPE：アクトレシピ）を用いて区市町村における通いの場等の取組状況を把握

調査時期

- 2023年1月～2月

対象者および調査方法

- 各自治体の介護予防担当者（n=62）にメールでアンケートを送付し、回答後に返信してもらった。
- 未回答項目は含めずに解析を行った。

調査項目 アクトレシピ：ACT-RECIPE

Plan(計画)

フェーズ	コア項目	小項目（当てはまる項目に✓）
理解	①地域づくりによる介護予防の背景を理解している	☐ 1 介護予防・フレイル予防の要点を理解している ☐ 2 介護予防・フレイル予防の要点を住民や関係者に説明できる ☐ 3 通いの場の必要性を理解している ☐ 4 通いの場の必要性を住民や関係者に説明できる
	②調査結果等から地域の強みと弱み、通いの場の現状を把握している	☐ 1 少なくとも数年に1度程度、地域診断の際に調査（ニーズ調査等）を活用している ☐ 2 地域にある通いの場の実施状況（場の数、活動頻度、内容、運営者など）を把握している ☐ 3 通いの場の参加者の状況（性別、年齢層、健康状態、要支援・要介護認定者の参加の有無など）を把握している ☐ 4 地域の強みと弱みを把握している
調査・計画	③重点課題を明確にし、課内で共有している	☐ 1 通いの場に関係する地域の弱み（問題点）を洗い出している ☐ 2 重点的に取り組むべき課題（重点課題）を決めている ☐ 3 上記を課内で協議・共有している
	④重点課題の解決に向けた実施計画・目標値を策定している	☐ 1 重点課題に対する取組内容を策定している ☐ 2 取組の年間計画を決めている ☐ 3 取組の目標や目標値を設定している ☐ 4 役所内の他事業とどのように連動させるかを整理している ☐ 5 連携が必要な機関・組織を整理している ☐ 6 上記を課内で協議・共有している
	⑤評価計画（いつ、誰が、何を、どのように評価するか）が明確である	☐ 1 体制・連携や取組の実施状況の評価方法を決めている ☐ 2 取組による直接の成果（通いの場の数や参加者数など）の評価方法を決めている ☐ 3 取組による効果の評価方法を決めている

Do(実施)

体制・連携	⑥重点課題の解決に必要な行政内外の機関・組織と連携している	☐ 1 行政内の他部署・支局（出張所等）と連携している ☐ 2 他機関と連携している ☐ 3 職能団体と連携している ☐ 4 住民組織と連携している
	⑦重点課題の解決に必要な取組を実施している	☐ 1 支援者・ボランティアの養成、スキルアップを行っている ☐ 2 通いの場の立ち上げ支援を行っている ☐ 3 通いの場の継続支援を行っている ☐ 4 住民の参加を促す取組を行っている ☐ 5 他事業と連携している ☐ 6 介護予防と保健事業の一体的実施を行っている ☐ その他の取組を実施している（ ）

Check(評価)

評価	⑧通いの場事業を評価している	☐ 1 体制・連携を評価している ☐ 2 取組の実施状況を評価している ☐ 3 直接の成果を評価している
	⑨通いの場の効果を評価している	☐ 1 通いの場の参加者を対象にした調査・評価を随時行っている ☐ 2 高齢者全体を対象に、個人を識別した調査を、少なくとも数年に一度実施している ☐ 3 個人を識別した調査において、通いの場の参加者と非参加者を識別できる ☐ 4 個人を識別した調査データ(通いの場の参加状況やアンケートデータ等)と医療・介護保険情報等を結合できる

Action(調整・改善)

調整・改善	⑩課題解決に向けた計画、体制、取組内容、目標値を再検討している	☐ 1 計画を再検討している ☐ 2 体制を再検討している ☐ 3 取組内容を再検討している ☐ 4 目標値を再検討している
-------	---------------------------------	---

通いの場等の取組状況の結果(n=51)

